

**事故・ひやりはっとを通して
次の事故につなげない為に・・・**

ゆきよしクリニック 短時間通所リハビリ
介護福祉士 熊倉 千陽

1. 通所リハビリについて

- ◆ 対象者：介護認定を受けている方
- ◆ 定員：25名

個別リハビリ＝15～20分
物理療法、自主練習＝40分前後

月～金曜 13:00～15:30
(送迎を含め1時間～2時間未満)
送迎エリア：江南区・東区・中央区

- ◆ PT・OTのリハビリスタッフが個別リハビリプログラムを作成・実施。
- ◆ 家庭での自主トレーニングを立案・指導し、
それぞれの目標達成に向かってサービスを提供。

ご自宅にお迎え



バイタル確認



個別リハ(PT・OT)
物理療法
自主練習



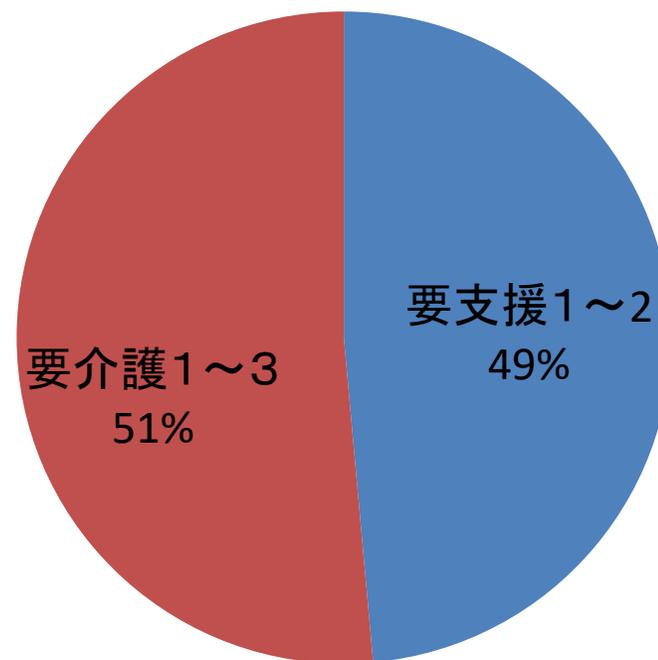
水分補給



ご自宅にお送りする



利用者様の介護度



2. 事故・ひやりはっと件数（H27.4～H28.3）

◆事故2件

◆転倒1件

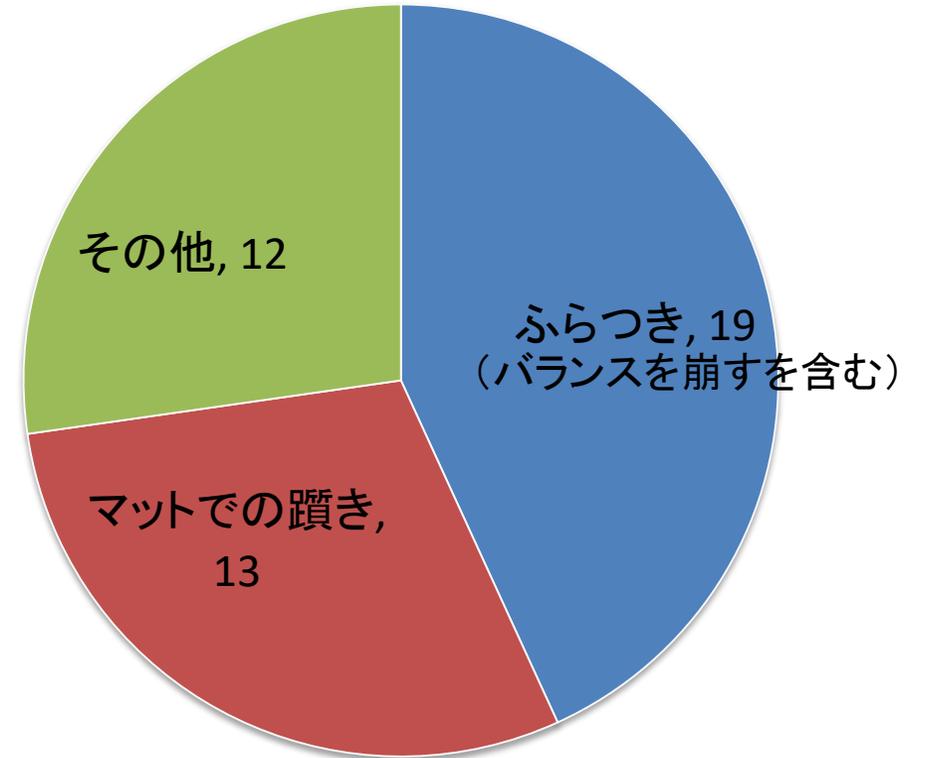
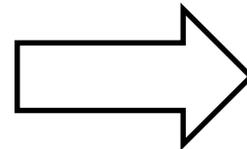
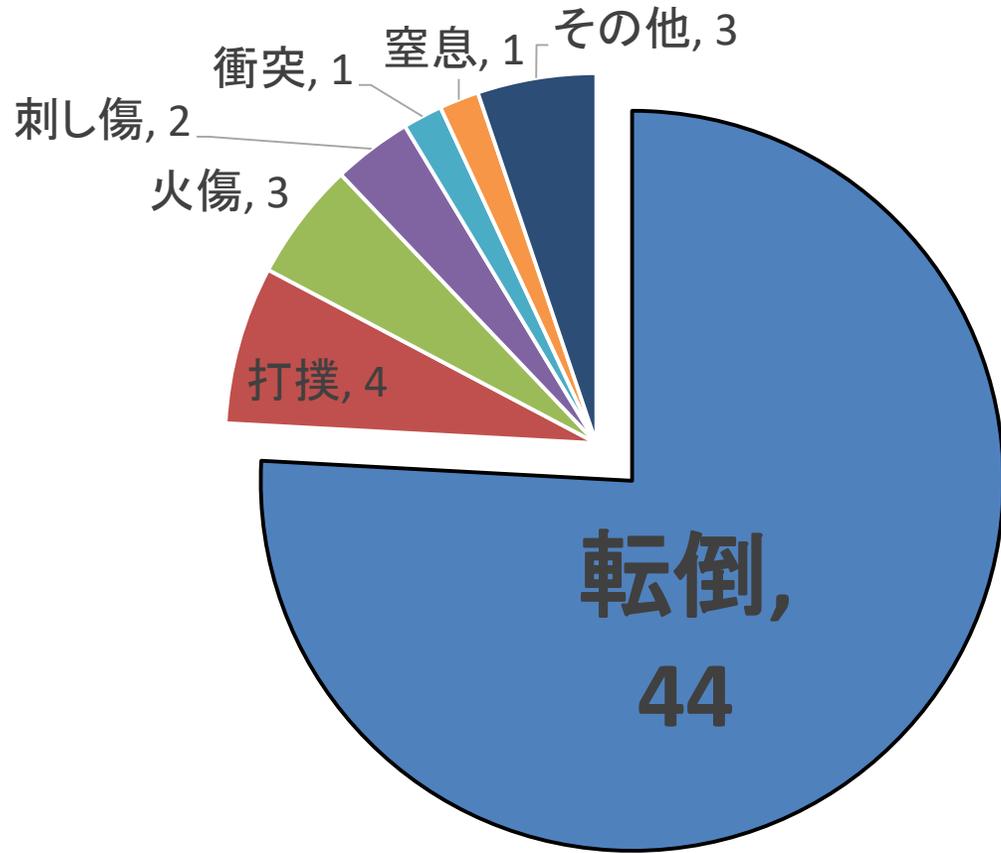
◆転落1件

◆ひやりはっと58件



3. ひやりはっと件数

どのような事故につながりそうになったか...



■ 転倒 ■ 打撲 ■ 火傷 ■ 刺し傷 ■ 衝突 ■ 窒息 ■ その他

4. ひやりはっとからの対策・結果①

リハ室入り口にマットが敷いてある



そこでの躓き件数が圧倒的に多かった



対策 ① 通りハの時間帯は外した



結果 ① リハ室入り口でのつまづき・転倒が0件となる！！



4. ひやりはっとからの対策・結果②

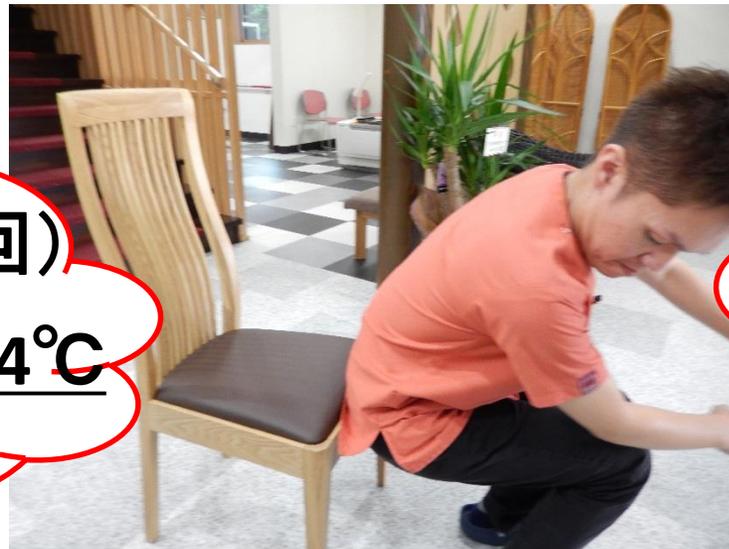
S様(86歳 男性) 要支援1

腰部脊柱管狭窄症・前立腺癌・パーキンソン病

独居, ADLは自立, 近所の病院受診は自転車もしくは徒歩, 認知機能の低下みられた

血圧 118/62 (脈拍89回)

体温38.7°C → 点滴後 38.4°C



職員も周りに気をとられ、
注意がそれていた。

年間通して検温をする

肘掛け付きの椅子で
対応必ず付き添う

5. その他の取り組み

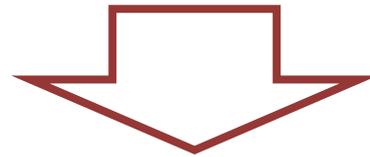
現状

外来と併用したスペースで行っており、器具の配置など、通所リハビリ利用者様にあわせた配置に変更することは困難。

☞ 通路が狭い、電気コードが多い、外来用の椅子の使用(肘かけなし、丸椅子等)

私たちが当たり前に使用しているスペースでも、利用者様にとっては、危険な個所がたくさんある！！

対策



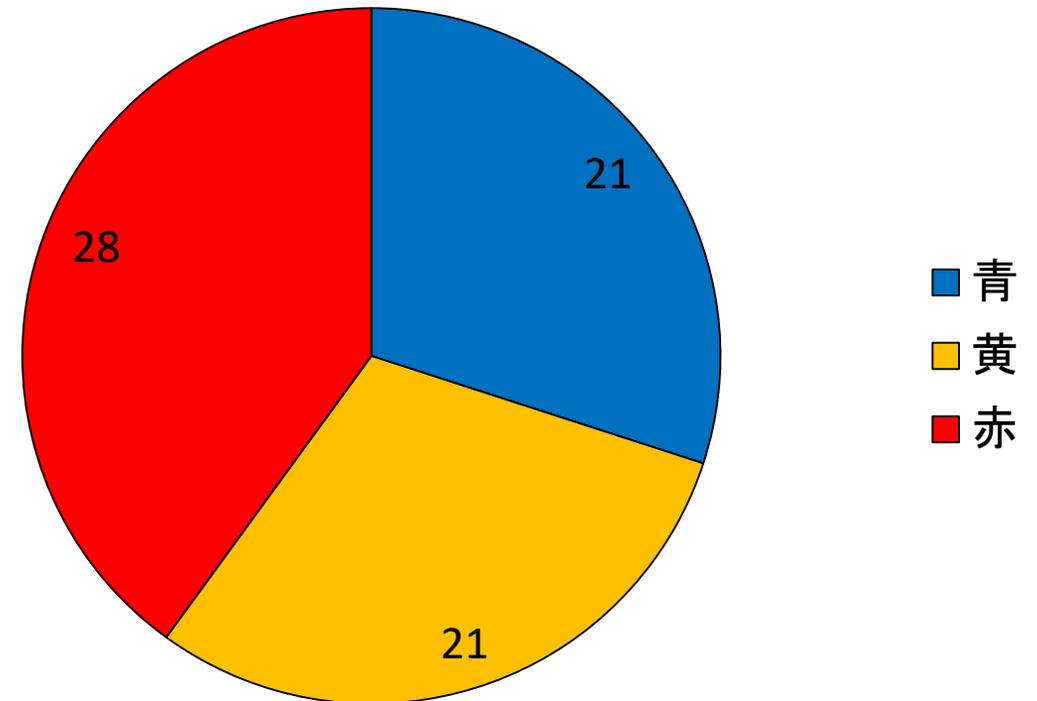
- 椅子を肘かけ背もたれ付を使用。
- 狭い箇所や、コードがある場所では、声掛けなど注意を促す。
- 人で密集している場所では、スタッフ間でも声掛けをする。

対策

- 利用者様のネームの紐を色分け

赤→付添い
黄→見守り
青→自立

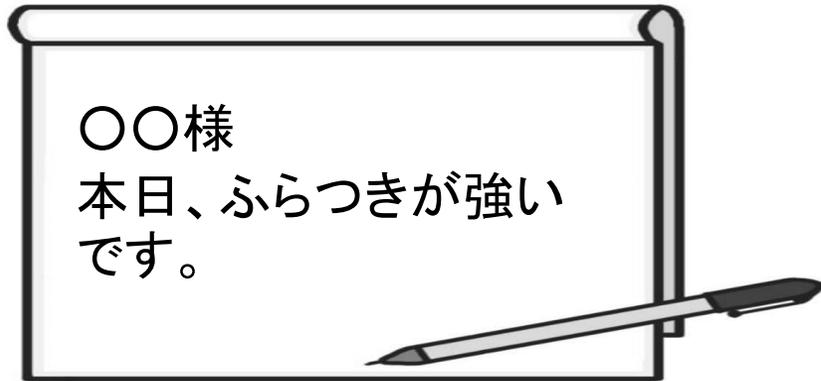
紐の色



転倒のリスクなどを考え、リハスタッフと相談して紐の色を決める。
利用者様の状態が変われば再検討し、変更する。

対策

- その日の利用者様の状態をスタッフ間でメモ・伝言などで情報共有する。



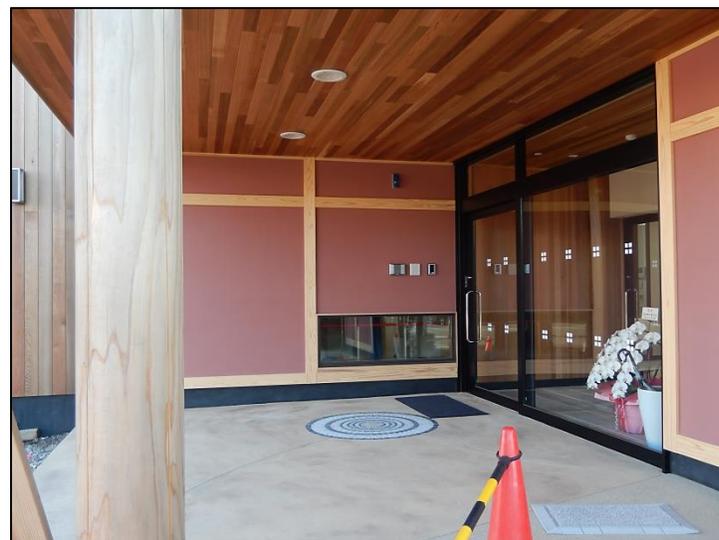
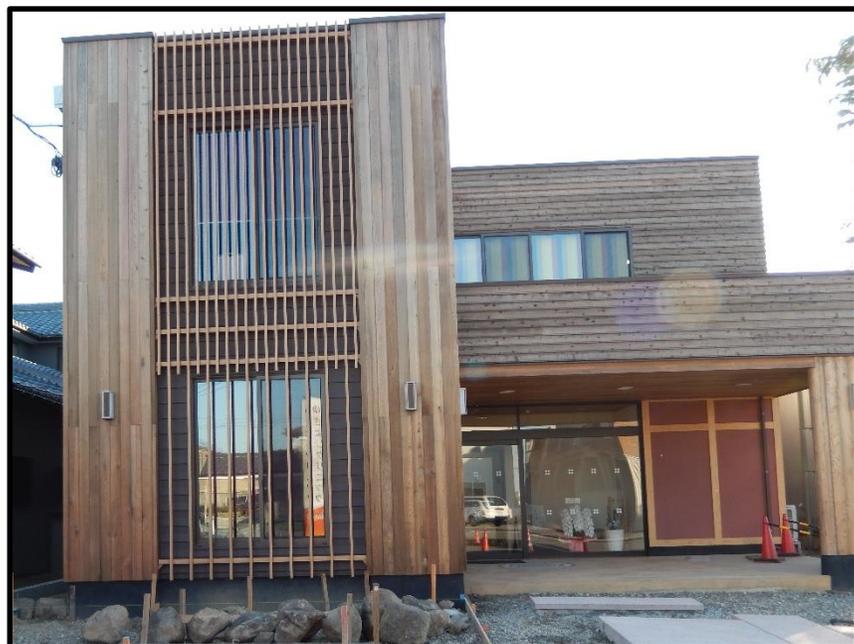
- リハスタッフとケアスタッフで利用者様の状態や、事故について繋がる可能性を考え話あう。
- 毎日、その日の反省会を行う。



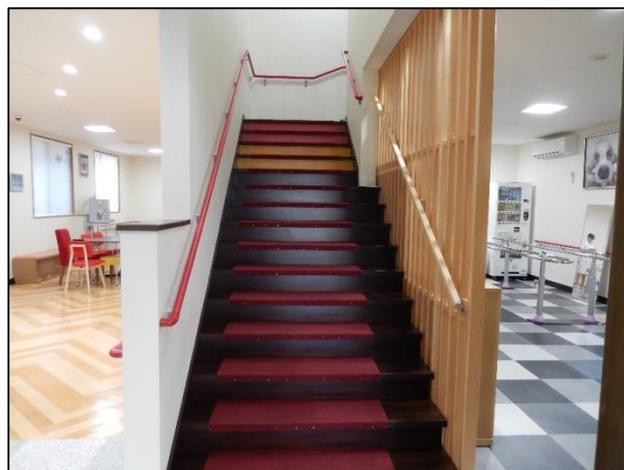
スタッフ間で連携をとる！！！！

ゆきよしクリニック新築棟が完成しました！！！！

正面玄関(外観)



新館



階段も使えます！



平行棒



起立台



プラットフォーム

